

Doc P 5806
E 1792

書籍番子 二八〇六

「ルイ・アントニオ・ヌマス・ロドリゲス」 説問大要
同人一職業 醫院 事務員 国籍ホルトガル ホルトガル領
「イモール」 出生 年齢三十才 現住所ホルトガル領
「イモール」 デイリ 一ハ正當ニ宣誓ノ上陳述ス

私ハ日本軍が最初「デイリ」ヲ占領シタ一九四二年二月二十日
ニハ「デイリ」ニ居マシタ

X X X X X X

一九四三年「オツ」ニ居タ時私ハ日本人カ「ケリミア」ト云フ名、
原住民ノ酋長モ一緇ニ原住民ヲ殴打スルヲ見マシタ 又狼血
兒ヲ殴ルノモ見マシタ 日本人ハ酋長ヤ他ノニ三人ノ原住民ニ
彼等ノチヲ縛ツタ上テ煙草ヲ焼イタリ、口ニ島ヲ閉テテ口
ニ水ヲ注イタリシテ拷問ヲ行ヒマシタ 又彼等ヲ突ツタ石、
上ニ無理ニ蹴マツカセテ背中ヲ压迫シタリマシタ 又煙草ヲ耳
ニ入レタリシマシタ 原住民ハマダ、平手テ打タレタリ、杖ヲ殴ラレ
タリシテ、意識ヲ失フト水ヲ蘇生サセラレ、再ビ殴打サレマシタ
私ハ原住民ノ酋長「ケリミア」カ新シク掘ラレタ墓穴ニ連レテ行
カレルヲ見マシタ 彼ハ手ヲ縛バラレ、四五人ノ日本ノ憲兵ガ長イ
原住民ノカテ酋長ノ咽喉ヲ小刻ニ切リ、豫州人ノ居所ヲ白
狀シケレバ殺シテシマフゾト彼ニ云ツテ居マシタ 酋長ハ如何ナル情
報ヲ與ヘル事モ拒絶シマシタノテ連レ去ラレマシタ
約一月経テ日本ノ祭日ニ日本人ハ酋長ハ日本人ノ友
達テナイカテ殺サレタト発表シマシタ 日本人ハ他ノ酋長ニ此
ノ事ヲ全部話シテ、モシモ彼等ハ日本人ヲ殺ケナケレバトニテア
起ルカニ付テ嚇シマシタ

X X X X X X

私ハ日本人カ「ケリカイ」村ヲ燒クヲ見マシタ、ソノ中ニハ病院ヤ
學者ノ家モアリマシタ 是ハ一九四二年十二月ノコトデシタ 私ハ又「マク
ラ」村ヲ燒クヲ見マシタ、此ノ時日本人ハ燒カレルヲ見マシタ

日本人が原住民部落ヲ襲ツク時 彼等ハ無差別機関銃射ヲ浴セ
マシメ

X X X X X

一九四三年二月五日ニ私ハ日本人カ「デイリ」ノ支那人ノ家ヤ他多
數ノ家ノ戸ヲ叩ケテ家々ヲ掠奪シテ居ルヲ見マシメ
私ハ日本人カ酋長ニ原住民ノ女子達ヲ娼家ニ送ルヲ強要
シ多クノ場所ヲ知ツテ居マス 彼等ハモシモ酋長カ女子達
ヲ送ラナイナラ 彼等即チ日本人カ酋長ノ家ニ行ツテ彼等ノ近
親ノ女達ヲ此ノ目的ヲ達シ去ルト云ツテ脅迫シマシメ

X X X X X

證人 署名

ルイ A・M・ロデリゲス

通訳者 私人「ゲイル・フリエラ」ハ上記證人ノ署名ニ先立テ前記
大要ヲ證人ニ対シ證人自身ノ國語ニ正當ニ翻譯セシメテ證明ス

翻譯者 「ゲイル・フリエラ」本人署名

一九四六年六月二十六日ホルトカル領「テイモール」「デイリ」ニ於テ余ハ
右ノ陳述ヲ録取シ且ツ宣誓ヲ為サシム

東南亞細亞方面軍司令官ニヨリ

右訊問方ヲ任命セラレタル將校

W・F・クイントン 少佐 / 本人署名

蘭領東印度軍

H・ホス 大尉 / 本人署名

ホルトカル領「テイモール」長官

本人署名 不明